

令和3年度 学校評価委員会

令和3年3月 社会福祉法人天野会 塩原認定こども園

1. 教育・保育理念

☆良い環境の基に愛情を持って教育・保育をします。

☆ひとり一人を大切にし、心身ともに健やかに育成されることを支援します。

2. 教育・保育目標

*豊かな生活体験を通して自我の育ちを助長し「生きる力」の基礎となる「心情」「意欲」「態度」を培う。

*「明るく元気に遊ぶ子」「優しい心と健康な体を持った子」「創造性豊かな子」「自分で考え行動できる子」

3. 今年度の重点目標

*子どもの育ちの連続性を確保するために、学校との学びを繋ぎ、連携を大切にする。心を揺さぶられる体験を通して、10の姿が芽生えるようにする。

4. 具体的な取り組み

*取組の様子を視覚的に表し（写真の掲示）子どもの育ちを保護者、職員が共有できるようにする。

5. 園評価結果とそれに対する学校関係者評価

評価 **A**・・・達成できている/ **B**・・・ほぼ達成できている/ **C**・・・余り達成できていない/ **D**・・・達成できていない

評価項目及び視点	自己評価（園・職員）	評価点
教育・保育課程・指導 <ul style="list-style-type: none"> こども園の状況を踏まえた目標の設定状況 職員の共通理解状況 行事の管理・実施体制状況 年間の指導計画や週案等の作成状況 乳幼児に適した環境に整備され、学級経営の状況等 教育・保育要領に沿った、乳幼児の発達に即した指導の状況 	<ul style="list-style-type: none"> 2・3号認定児のみの在園であり、小規模園なので職員の共通理解のもと指導計画の作成や行事の持ち方、クラス運営の状況等日々の共有ノートで確認し、職員会議では園児ひとり一人のPDCA（計画・実行・確認・改善）を発表し合い、成長の確認を共有しています。 <u>・コロナ感染症で行事等は役員会で話し合いをしてできることは実施しています。</u> ・家庭教育学級は、2回実施できた。 	A
保健管理 <ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域の保健・医療機関との連携の状況 園保健計画の作成・実施状況・環境衛生管理の状況・日常の健康観察や疾病予防のための取り組み、健康診断の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て相談センターとの連携 保健計画作成・保健便り発行 環境管理データ表作成 内科検診、歯科検診、尿検査年2回（入園児内科検診1回） 眼科検診年1回 朝の視診で、健康観察台帳に記入しています。 <u>・コロナ感染症で臨時休園（1.21～1.23）</u> 	B
特別支援教育 <ul style="list-style-type: none"> 医療・福祉等関係機関との連携状況 特別支援教育のための園内支援体制の整備状況 個別の指導計画や支援計画の作成状況 家庭との連携状況 	<ul style="list-style-type: none"> 国際リハビリテーションセンター・市の子育て相談センターと連携し出来る限りの支援を行っています。 発達支援コーディネーター研修に参加、支援児に加配保育教諭の配置を実施している。個別の計画を策定し、園内職員で共有している。家庭との連携も日々行い、子育て支援センターに繋いでいます。 	A

<p>組織運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長など管理職の目標の達成に向けたリーダーシップの状況、又他の職員からの信頼状況 ・園内職務分担が適切に機能するなど、明確な運営・責任体制の整備状況 ・園の財務運営の状況や公開状況 ・勤務時間管理状況等、サービス監督状況 ・各種文書や個人情報等の園が保有する情報の管理状況、職員への情報取扱い方針の周知状況 ・園運営のための諸事務等の情報化の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人間の管理者会で会議開催する。 ・4月より職務分担表で責任体制の整備を実施、職務分担以外でも職員の協力が見られます。 ・勤務時間管理は、職員の働き方改革も含め、希望する日に休暇が取れるよう、就業規則を各種法令遵守のうえ改定しました。新たに、子の看護休暇で中学校入学前の子を有する職員等は、その子が負傷、疾病により通学できない日について、1年間に5日を限度として有給をとることができます。 ・個人情報の管理は、園のマニュアルに準じて実施しています。 ・園の財務状況は法人のホームページで公開しています。 ・法人ホームページ http://www.amano-kai.com 	A
<p>研修（資質向上の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育の継続的实施など、指導改善の取組状況 ・園内における研修の実施体制の整備状況 ・園内研修・園外研修の実施・参加状況 ・個人の自己研賛の学び状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・トップセミナー参加 ・幼稚園教員免許の更新研修 ・キャリアアップ研修のみ参加しています。 ・<u>ウェブの研修実施</u>。(コロナのため) ・法人3園で、研修担当が集まり情報交換(クラス保育・保護者対応、行事、日々の活動)等話し合い記録を残しています。 ・園内研修は、年間計画を立て、主幹教諭主導で月1回実施しています。 	A
<p>保護者・地域住民との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園運営への保護者、地域住民の参画及び協力の状況 ・地域住民から寄せられた具体的な意見や要望の把握・対応の状況 ・園や地域団体との連絡の充実の状況・地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源の活用状況 ・保護者・地域住民を対象とするアンケートの結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事においての保護者の協力、地域、関係機関(学校・公民館)の協力には常に感謝しています。 ・家庭教育学級は、2回実施できた。 ・<u>地域の伝統行事には参加できない</u>。(コロナのため) ・保護者アンケートは、年間を通し実施、次年度計画に反映させています。地域に対しては口頭で意見を聞いています。 ・青空プロジェクトとの連携をしている。(菜の花畑遠足・生き物のお話) ・地域に対しては、コロナで案内掲示はなかった。 	A
<p>子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者の実情や要望による園の子育ての支援活動の状況 ・保育教諭のカウンセリングの基礎的理解と相談機能の状況 ・他の関係機関との連携状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児に関しては、他機関へ繋ぐ、相談に応じる、アドバイスするなど、実践しています。 ・職員は「発達支援コーディネーター」研修に参加し保育、保護者相談に応じる体制をとっています。 ・子育て相談センターとは支援児についての情報交換をしています。 ・国際リハビリセンターの先生とも連携を取り合っています。 	A
<p>預かり保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の実情や要望による預かり保育の実施状況 ・園や保育教諭の受入体制の状況 ・こども園の目的、教育・保育課程との関連、乳幼児の負担、家庭との連携等への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度34名の利用者がいます。園の行事と重ならなければ1日2名まで預かり(市で別途利用料金有)ます。 ・申込書、面談、緊急時対応、アレルギー等聞き取りをします。 ・できれば利用日前に、親子で園に遊びにきて慣れてもらう。 ・休日保育も実施、令和3年度80名利用しています。 	A

<p>教育・保育環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備 <ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備の安全・維持管理のための点検、整備取組状況 ・情報化の共有状況 ○遊具・用具・図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・遊具・用具・図書等の整備状況 ・学習・生活環境の充実のための取組状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の安全・維持に関しては、業務委託（消防・藤興産・学校薬剤師・矢野美弘・110番通報・メディカルコミュニケーションズ・建物・宮沢建設・害虫駆除・ダスキン）その他日常点検は職員が交代で点検記録をしています。 ・遊具・用具の整備も日常は職員が点検記録し、砂場の砂は年1回交換、遊具安全点検は、ひかりの国で実施しています。（10.28） ・いのししに門扉を破壊される。サル対応に電柵（青空プロジェクト）を設置しました。 ・野菜はプランター栽培しています。 	A
<p>教育・保育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育・保育目標の設定と自己評価の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・園の実態、保護者や地域住民の意見・要望等を踏まえた園としての目標等の設定状況 ・園の状況を踏まえ重点化された目標等の設定状況 ・自己評価が年1回以上定期的に実施行われているかなどの状況 ・自己評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況 ・外部アンケート等の実施と自己評価への活用状況 ○学校関係者評価の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者その他の学校関係者による主体的・能動的な評価が年1回定期的に実施されているかなどの実施状況 ・学校関係者評価が自己評価を踏まえたものになっているかなどの状況 ・学校関係者評価のための組織の構成状況 ・学校関係者評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況 ○園に対する保護者の意見・要望等の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の満足度の把握の状況 ・教育・保育相談体制の整備状況、保護者の意見や要望の把握・対応状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」（健康な心と体・自立心・協同性・道徳性・社会生活との関わり・思考力の芽生え・自然との関わり・数量・図形・文字への関心・言葉による伝えあい・豊かな感性と表現）を、クラスの中で今この子は、この面が育っている、その場面を写真に収め毎月クラスごとにメッセージを入れ掲示して、保護者の皆様に見て頂き共に育ちを確認しております。この目的は新1年生が小学入学を円滑にすすめるためにですが、子ども達ひとり一人が未来の創り手となっていくために、20年30年後を見通して「生きる力」を育てていかなければならない。という大きな視点も含まれています。 ・学校関係者評価の年1回実施。 ・学校校長・PTA会長・地域児童委員・保護者会役員等で構成。 ・学校関係者評価、保護者アンケート等を踏まえ、「保育課程」を作成し、指導計画に生かしています。 ・結果はホームページで公開しています。 http://www.amano-kai.com ・園には苦情相談窓口が設置されておりますが、まだ苦情はありません。アンケート、保護者役員会等を通して、お互いの意見、要望の話し合いを進めています。 	A